

# J R 東 労 組 盛 岡

No, 32  
2018年11月15日  
東日本旅客鉄道  
労働組合  
盛岡地方本部

〒020-0045  
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号  
発行人 佐々木克之  
編集人 情 宣 部  
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157  
JR 033-2238-2239 FAX 033-2230

盛地申3号  
交渉②

## 安全で働きがいのある職場を創り出すための

### 緊急申し入れ

本人は、区長からのアドバイスもあり、SASも含めた身体検査を個人的に行っている。その結果、「重度のSAS」と診断され、それ以外身体に異常はない事が診断された。「強い眠気があった」など、今回の事象は「SAS」大きな背後要因と考えているが？会社の考えは？

検査結果がSASと診断されても、それが原因だとハッキリしたものではない。原因はわからない、特定できない。掘り下げた議論は必要だが、個別の事象に対しての分析や背後要因を団体交渉で議論するのはなじまないと思っているが、必要な事柄は示していく。

緊急申し入れを出し、労使で安全・安定輸送を創って行く。その為に、個別具体的な議論であるが、今回の事象を重く受け止め、二度と起さない為に議論している認識だがそれは違うのか？

それは同じ考えである。

何が原因で対策を行うのか、認識を合わせる場だと思っている。その対策に基づいて教育・指導されるのであれば原因の認識を合わせないと前に進まない！SASが原因の可能性がないとは言えないのではないか！

可能性のひとつではあると思う。しかし、SASだから寝ていても許される訳でもないし、現在SASで治療して乗務している人は事象を起こしていない。運転操縦する人が乗務中に意識ない・寝ているとなればSASに関わらず乗務不適格であると判断している。しっかり健康管理するのが社員の務めであり、乗務する上で必要だという認識である。

SASは病気であるという認識はあるのか？また産業医に意見は求めたのか？？

詳しいものは知らないが、その様な認識はある。産業医には結果報告はしている。乗務する・しないの判断は産業医になるが、今回判断は行っていない。治療して良くなったとしても「乗務させない」と判断した。

地本交渉団は、職場の声をもとに今回の事象を掘り下げ、背後要因にはSASがある事を訴えてきました。しかし、会社は「原因は特定できない」「意識がなく運転していたとなれば乗務員はやらせられない」と、原因を掘り下げる事なく、議論は平行線をたどりました。会社の対応は、責任追及であり不誠実な対応と言わざる終えません！盛地申3号、第1項は対立を確認して交渉終了しました！

**第2回交渉は11月16日（金）開催予定です！！**